

自分の思いや考えをもち表現することができる児童の育成

～対話的に学ぶことを通して～

本校では、昨年度に引き続き、「自分の思いや考えをもち表現することができる児童の育成」に向けて、対話的な学びを意識した授業づくりを進めています。

7月1日(水)に3年2組で研究授業を行いました。授業の様子をお伝えします。

第3学年 社会科 「わたしたちのくらしとお店の仕事」

「スーパーマーケットは何のために工夫をしているのか考えよう。」という学習課題を基に、「値段」「品揃え」「新鮮」のエキスパートグループに分かれて、グループや全体で話し合いを行いました。

子供たちは、グループや全体での話し合いを通して、「新鮮なものを売ること、お客さんはおいしく食べることができ、お店の人はお金をもらえる、むだにならない」「品揃えが多いと、お客さんはいろいろな種類の商品を買うことができ、お店の人も多くの商品を買ってもらえてもうかる」など、スーパーマーケットの工夫は消費者と販売者の両方にとってよさがあることに気付きました。



振り返りでは、「何のために工夫しているかをもっと考えたい。」「グループや全体で話し合ってみて、何のために工夫をしているのかよく分かった。」等、対話を通して自分の考えを深めたり、新たな考えをもったりすることができました。

授業後は、教員同士で授業の成果や改善点について話し合いました。また講師の先生をお招きして、指導・講評をいただきました。

この日学んだことを、教員一同、明日からの授業に生かしていきたいと思います。